

# ねこのさんぽ

あたらしいともだち

さく がりーど ちえこ





# ねこのさんぽ

あたらしいともだち

さく がりーど ちえこ

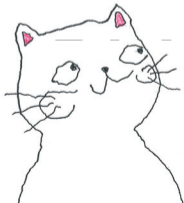


みすが スキップをしています。

「おともだちが いないかな？」



あたらしいともだち



「あっ いたいた！

あそこにいるぞ、ねずみだ」

ねずみは いそいで あなに かくれました。



—— 「ねずみさん、おさんぽ しないか？」 ——  
「わたしを たべない？」  
あなのおくから ちいさな こえが きこえました。  
「もちろん たべないよ」





「ねこはねずみをたべるってみんないってるわ」  
こんどはあなからかおだけだしてねずみがいいました。

「みんないってるの？ こまったなあ でもぼくはきみをたべないよ」

「ほんとう？」

「ほんとうさ」

「じゃ おさんぽ しましょ。  
わたしは ちゅうこ、よろしくね」  
ちゅうこちゃんは あなから  
でてきて いいました。

「ぼくは みす、よろしく」



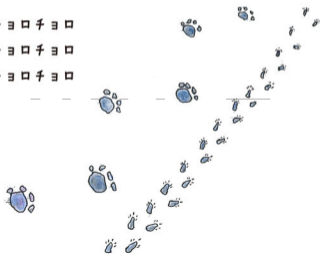


ふたりは てをつないで なかよく さんぽです。



トコトコ チヨロチヨロ  
トコトコ チヨロチヨロ  
トコトコ チヨロチヨロ

— — — —





「みすはなにをたべるの？」

ちゅうこちゃんがききました。

「おさかなやミートボールだよ。

ちゅうこちゃん、きみは？」

「おかしやチーズよ。

おいしいチーズのあるところをしってるの。

いっしょにいく？」

「うん！ いくいく！」

ふたりは てをつないで かけだしました。



「わあ～ これがチーズ？ おいしいなあ～  
ぼく、はじめてチーズを たべるんだ。  
ちゅうこちゃん ありがとう」

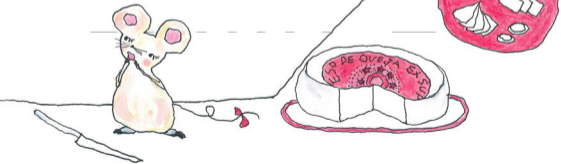


「どういたしまして。」

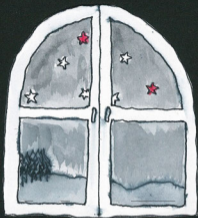
こんどは おいしい おさかなの あるところにつれて行ってね」

「うん、いいよ。いついく？ あした？」

ちゅうこちゃんは チーズを ほおぼりながら  
こっくりと うなづきました。

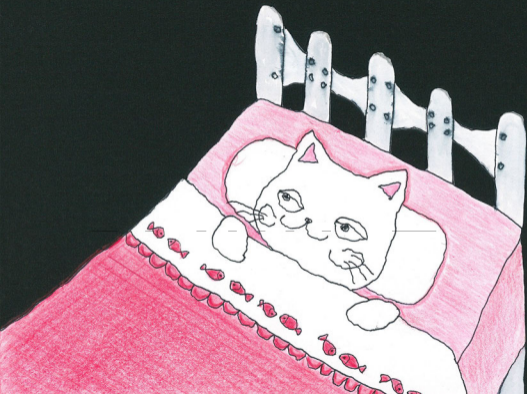


そのよる

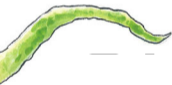


みすは ベッドに はいって おもいました。

あした やくそくが あるって ステキだなあ……



もうひとりのともだち



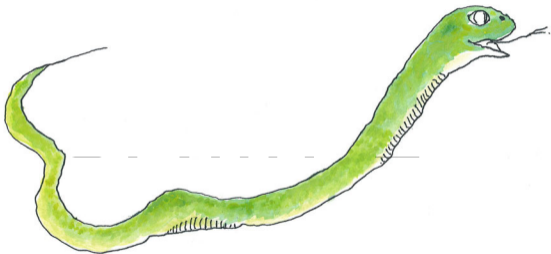
つぎのひ





みすが ちゅうこちゃんを まっていると……





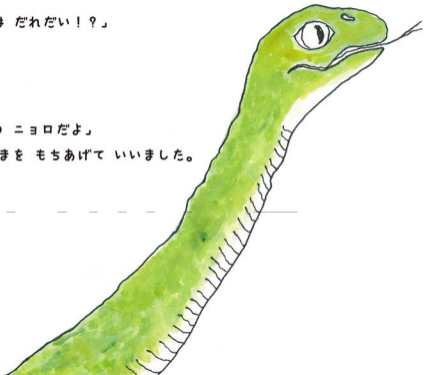


「ひゃーびっくりした!!」

「きみは だれだい!？」

「ぼくは へびの ニョロだよ」

ニョロは あたまを もちあげて いました。



「ぼく、ぜんぜん きが つか な かった」

「へへへ、それが ぼくの とく い わ ざ。  
そーっ と す ば や く ち か づ く の さ」



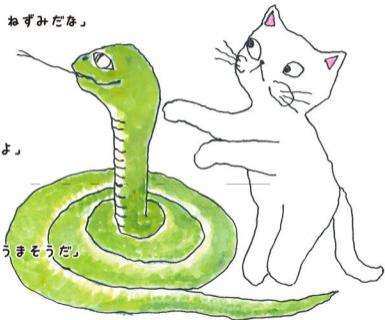
そこへ ちゅうこちゃんが やってきました。



「おお、うまそうな ねずみだな」

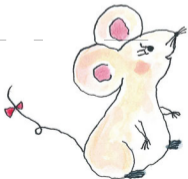
「だめだめ、  
ちゅうこちゃん  
ぼくの ともだちだよ」

「ともだちだって  
うまそうなものは うまそうだ」



「こんにちは」

なにも しらない ちゅうこちゃんは、  
にっこり わらって ニョロに あいさつしました。



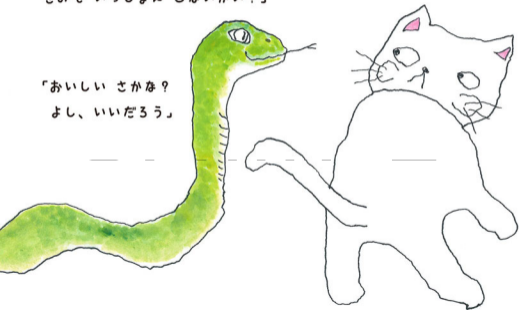


ニヨロは シュルシュルシュル～ と  
ながい したを だしました。



「だめだよ。ちゅうこちゃんはともだちなんだ。  
それより、これからおいしいおさかなをたべにいくんだ。  
きみもいっしょにこないかい？」

「おいしいさかな？  
よし、いいだろう」



さんには そろって あるきだしました。

チヨロチヨロ

トコトコ

シュルシュル～

チヨロチヨロ

トコトコ

シュルシュル～

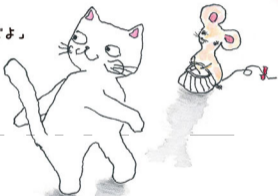


「まだか、あついぞ。 あつくてしにそうだ」



「わたし おみずを もってるわ」

「もう すこしだよ」



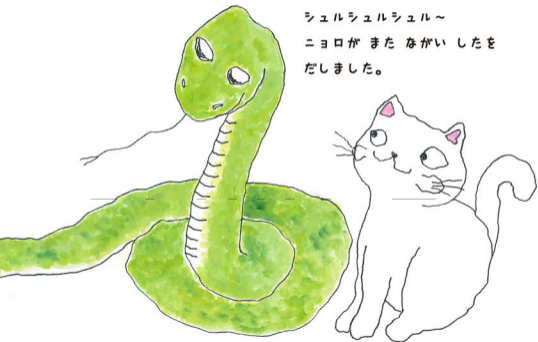
ちゅうこちゃんは バックの なかから すいとうを だして、  
ニョロの からだに おみずを かけて あげました。



「おー いきかえったぞ」

シュルシュルシュル～

ニョロがまたながいしたを  
だしました。




しばらくすると、とおくて なみの おとが きこえて きました。  
しおの かおりも してきます。

うみべに つくと、  
はまに うちあげられた おさかなが  
たくさん います。

「うん！おいしい〜」  
むしゃ むしゃ むしゃ

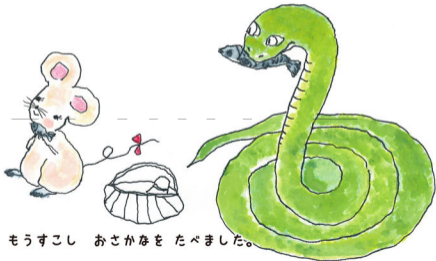




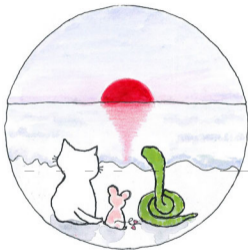


ちゅうこちゃんは、チーズのほうがおいしいな、とおもいました。

ニョロは、ねずみのほうがうまいだろうな、とおもいました。



でも、もうすこし おさかなを たべました。



# ねこのさんぽ あたらしいともだち

作 がりーど ちえこ

印刷・製本・発行 石田製本株式会社

〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31

TEL 011-676-4520

<http://i-bb.co.jp/>

Ishida Bookbinding 2020 / ©Chieko Garrido

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

